



## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ピエトロ

コード番号 2818 URL <http://www.pietro.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 村田 邦彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長

(氏名) 池田 邦雄

TEL 092-724-4927

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	4,981	0.8	384	27.8	378	30.5	200	48.5
25年3月期第2四半期	4,940	△13.3	300	△34.7	290	△37.9	135	△40.3

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 202百万円 (51.9%) 25年3月期第2四半期 133百万円 (△40.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	35.86	—
25年3月期第2四半期	24.16	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	7,418	3,355	45.2	600.11
25年3月期	7,444	3,253	43.7	581.84

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 3,355百万円 25年3月期 3,253百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	18.00	18.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	19.00	19.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000	13.9	550	15.6	530	14.1	260	18.4	46.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	5,591,630 株	25年3月期	5,591,630 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	497 株	25年3月期	497 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	5,591,133 株	25年3月期2Q	5,588,940 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算説明会及び四半期決算補足説明資料の入手方法)

当社は、平成25年10月31日(木)及び11月1日(金)にアナリスト向け四半期決算説明会を開催する予定です。四半期決算補足説明資料については、説明会当日に会場にて配布いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出企業を中心に企業の業績が改善するとともに、雇用・所得環境の持ち直しにより個人消費も緩やかに回復する状況で推移いたしました。

食品業界及び外食業界におきましては、消費者の節約志向や低価格志向が続くとともに、一部では高価格帯商品を求める動きもあります。

このような状況のもと、当社グループは、「おいしさと健康」を追求した高付加価値商品のご提供をとおし、さらなるブランド価値向上に努めております。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、通信販売事業とレストラン事業が減収となりましたが、食品事業が大きく伸長したことにより、49億81百万円（前年同期比0.8%増）となりました。

利益面では、食品事業の売上増に伴う増益とコスト管理の強化等により、営業利益は3億84百万円（前年同期比27.8%増）、経常利益は3億78百万円（前年同期比30.5%増）、四半期純利益は2億円（前年同期比48.5%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①食品事業

ブランド戦略のもと、お客様のニーズに応えるきめ細かな営業活動を展開したことから、主力ドレッシングであるオレンジキャップとカロリーを抑えたグリーンが順調に売り上げを伸ばしました。また、生タイプのドレッシングの特徴を生かした、「オリーブオイル」シリーズも好調に推移いたしました。本年9月には、たまねぎの美味しさをさらに加えた「生搾り」シリーズを新たに投入し、売上拡大を図っております。利益面では、ドレッシングアイテムを中心とした増収効果により増益となりました。

以上の結果、売上高は33億83百万円（前年同期比9.6%増）、セグメント利益は11億6百万円（前年同期比7.3%増）となりました。

<平成25年度 新商品>

発売時期	商品名
平成25年9月	ドレッシング「生搾りたまねぎオリーブオイル」 ドレッシング「生搾りたまねぎフレンチ」 ドレッシング「生搾りたまねぎと塩」 ゆでたパスタにまぜるだけ スパドレ「魚介サフラン」

②通信販売事業

通信販売限定商品として、パスタソース、スープ、フローズンヨーグルトなどの新商品を投入し品揃えの充実を図ったことから、夏のギフト商品が好調に推移いたしました。また、ダイレクトメール等による効果的な販促活動を実施し、購入頻度の増加に努めましたが、取扱商品の変更等があったことから減収となりました。

以上の結果、売上高は1億6百万円（前年同期比66.1%減）、セグメント損失は28百万円（前年同期は2百万円のセグメント損失）となりました。

<平成25年度 通信販売新商品>

発売時期	商品名
平成25年4月	村田厨房直送便「春便り」
平成25年5月	パスタソース「海老のクリームソース ビスク仕立て」
平成25年6月	フローズンヨーグルト（4種）
平成25年7月	スープ「能古島の完熟トマトの冷製スープ」 スープ「能古島のたまねぎ酢のサンラータン」 村田厨房直送便「夏便り」
平成25年9月	スープ「熊本産牛ばら肉と5種野菜のコンソメスープ」 スープ「緑の野菜のチャウダー」（リニューアル）

③レストラン事業

「冷製パスタフェア」や「カルボナーラフェア」をはじめ、旬の食材を取り入れた季節ごとのフェアは毎年ご好評をいただいております。また、ピエトロオリジナルの「イタリアー麵」につきましても、バリエーションを広げるなど、お客様に楽しんでいただけるメニューのご提供に注力してまいりました。さらに、「ピエトロクラブ」会員様向けの販促を実施して、集客力の向上を図ってまいりました。

以上の結果、売上高につきましては既存店が前年を上回ったものの、店舗数の減少により14億13百万円（前年同期比3.5%減）、セグメント利益は27百万円（前年同期比24.4%減）となりました。

<平成25年度 レストラン 季節のメニュー>

発売時期	商品名
平成25年4月	春野菜フェア
平成25年4月～8月	冷製パスタフェア 夏のイタリアー麵
平成25年6月～8月	氷イタリアー麵（一部のミオミオ店舗限定）
平成25年9月	秋のカルボナーラフェア

④その他（本社ビル等の賃貸）事業

その他（本社ビル等の賃貸）事業におきましては、ほぼ計画通りに推移し、売上高は78百万円（前年同期比4.1%増）、セグメント利益は39百万円（前年同期比8.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ25百万円減少し、74億18百万円となりました。これは主に売掛金が1億28百万円減少する一方、現金及び預金（長期預金を含む）が46百万円増加したことなどによるものであります。

負債合計は前連結会計年度末に比べ1億27百万円減少し、40億63百万円となりました。これは未払金が1億15百万円減少したことなどによるものであります。

純資産合計は前連結会計年度末に比べ1億2百万円増加し、33億55百万円となりました。これは前期決算の剰余金の配当1億円及び四半期純利益2億円の計上によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、円安や原油高による物価への影響や消費税率アップによる消費マインドへの影響など、予断を許さない状況が続くものと思われまます。

当社グループは、「おいしいものづくり」とおして、ピエトロブランドの認知度向上とお客様満足度のさらなる向上に努めてまいります。

なお、平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年5月15日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,119,667	1,050,918
預け金	62,883	38,465
売掛金	1,209,894	1,081,194
商品及び製品	93,205	112,341
仕掛品	3,424	3,861
原材料及び貯蔵品	114,127	115,733
繰延税金資産	35,313	35,891
その他	107,669	179,136
貸倒引当金	△445	△1,432
流動資産合計	2,745,739	2,616,110
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,557,792	1,511,189
土地	2,006,202	2,006,202
その他（純額）	201,174	207,951
有形固定資産合計	3,765,168	3,725,343
無形固定資産		
投資その他の資産	18,004	31,455
長期預金	—	115,000
敷金及び保証金	459,688	448,951
その他	477,795	501,781
貸倒引当金	△22,135	△19,796
投資その他の資産合計	915,348	1,045,937
固定資産合計	4,698,522	4,802,736
資産合計	7,444,262	7,418,847
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	527,403	431,636
短期借入金	1,250,000	1,250,000
1年内返済予定の長期借入金	323,220	134,860
未払金	486,117	370,767
未払法人税等	169,143	191,930
賞与引当金	46,764	49,360
資産除去債務	2,151	2,173
その他	218,926	221,164
流動負債合計	3,023,726	2,651,892
固定負債		
長期借入金	392,871	601,682
退職給付引当金	62,812	61,827
役員退職慰労引当金	495,359	551,429
資産除去債務	46,475	46,920
その他	169,843	149,801
固定負債合計	1,167,362	1,411,659
負債合計	4,191,088	4,063,551

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	474,400	474,400
資本剰余金	516,922	516,922
利益剰余金	2,252,024	2,351,906
自己株式	△449	△449
株主資本合計	3,242,897	3,342,778
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,116	14,425
為替換算調整勘定	△1,845	△1,908
その他の包括利益累計額合計	10,270	12,516
少数株主持分	5	—
純資産合計	3,253,173	3,355,295
負債純資産合計	7,444,262	7,418,847

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	4,940,342	4,981,810
売上原価	2,076,586	2,036,986
売上総利益	2,863,756	2,944,823
販売費及び一般管理費	2,562,909	2,560,369
営業利益	300,846	384,454
営業外収益		
受取利息	106	120
受取配当金	729	703
為替差益	—	2,206
貸倒引当金戻入額	261	—
その他	1,433	1,153
営業外収益合計	2,531	4,184
営業外費用		
支払利息	7,793	6,770
シンジケートローン手数料	3,063	3,155
その他	2,384	87
営業外費用合計	13,241	10,013
経常利益	290,136	378,625
特別利益		
固定資産売却益	—	4,983
負ののれん発生益	1,699	—
特別利益合計	1,699	4,983
特別損失		
固定資産除却損	348	119
減損損失	1,727	—
投資有価証券評価損	6,337	—
特別損失合計	8,413	119
税金等調整前四半期純利益	283,422	383,489
法人税、住民税及び事業税	86,630	182,983
法人税等調整額	63,936	△36
法人税等合計	150,567	182,946
少数株主損益調整前四半期純利益	132,854	200,543
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△2,172	21
四半期純利益	135,027	200,521

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	132,854	200,543
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	291	2,308
為替換算調整勘定	348	△89
その他の包括利益合計	639	2,219
四半期包括利益	133,494	202,762
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	135,562	202,767
少数株主に係る四半期包括利益	△2,068	△5

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	283,422	383,489
減価償却費	91,951	92,049
減損損失	1,727	—
負ののれん発生益	△1,699	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△466	△1,352
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,871	2,595
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△491	△985
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	52,662	56,070
固定資産売却損益 (△は益)	—	△4,983
固定資産除却損	348	119
投資有価証券評価損益 (△は益)	6,337	—
受取利息及び受取配当金	△836	△824
支払利息	7,793	6,770
売上債権の増減額 (△は増加)	109,715	129,266
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△5,158	△19,869
仕入債務の増減額 (△は減少)	△151,951	△97,031
未払金の増減額 (△は減少)	66,925	△100,247
未払消費税等の増減額 (△は減少)	7,264	2,174
その他	△30,925	△69,189
小計	438,489	378,052
法人税等の支払額	△24,724	△161,174
営業活動によるキャッシュ・フロー	413,765	216,878
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△30,000	△30,000
有形固定資産の取得による支出	△74,505	△62,904
有形固定資産の売却による収入	—	6,154
投資有価証券の取得による支出	△11,729	△1,772
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	9,357	—
敷金及び保証金の差入による支出	△36,062	—
敷金及び保証金の回収による収入	80,925	18,685
保険積立金の積立による支出	△25,779	△25,695
利息及び配当金の受取額	836	824
その他の収入	4,493	—
その他の支出	△10,271	△23,854
投資活動によるキャッシュ・フロー	△92,736	△118,562
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	200,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△169,684	△280,880
リース債務の返済による支出	△14,358	△20,042
自己株式の取得による支出	△33	—
自己株式の処分による収入	3,677	—
配当金の支払額	△100,090	△100,847
利息の支払額	△8,001	△7,092
財務活動によるキャッシュ・フロー	△88,490	△108,862
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,873	2,379
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	234,412	△8,167
現金及び現金同等物の期首残高	906,776	996,702
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,141,188	988,534

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	食品事業	通信販売 事業	レストラン 事業	その他 (本社ビル等 の賃貸) 事業	計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	3,086,077	314,094	1,464,615	75,556	4,940,342	—	4,940,342
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	974	974	△974	—
計	3,086,077	314,094	1,464,615	76,530	4,941,317	△974	4,940,342
セグメント利益 又は損失(△)	1,031,213	△2,149	35,901	36,735	1,101,700	△800,853	300,846

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額に含めた各セグメントに配賦できない金額は800,853千円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 前連結会計年度にて日清オイリオグループ(株)との生産管理契約を解消しているため、同事業セグメントを廃止しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	食品事業	通信販売 事業	レストラン 事業	その他 (本社ビル等 の賃貸) 事業	計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	3,383,443	106,326	1,413,396	78,644	4,981,810	—	4,981,810
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	974	974	△974	—
計	3,383,443	106,326	1,413,396	79,618	4,982,785	△974	4,981,810
セグメント利益 又は損失(△)	1,106,952	△28,940	27,136	39,725	1,144,873	△760,418	384,454

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額に含めた各セグメントに配賦できない金額は760,418千円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。